

小島（こじま）の春（1940）

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 88分

初公開日 1940/07/31

公開情報 東宝映画

【解説】

在宅らい病（ハンセン病）患者を国立療養所に収容する旅を記録した小川正子の同名手記を、八木保太郎が脚色し豊田四郎が監督した。高峰秀子に強い影響を与えたという杉村春子の熱演や、戦前の瀬戸内海の美しい風景を切り取った映像など、高い評価を受けた。しかしその反面、らい病の誤った知識を描いていることから、批判も多い。

国立らい病療養所である長島愛生園に勤める女医の小山正子は、戦前の瀬戸内の小さな島で在宅患者を探し隔離し、病気に関する正しい知識を広めようとしていた。島ではらい病に関する知識が乏しく、患者は座敷牢に閉じ込められたりしていた。正子は同僚たちと患者の家を訪ね回り、患者やその家族と直接面会するのだった。

【クレジット】

監督 豊田四郎

製作 重宗和伸

企画 重宗和伸

原作 小川正子

脚本 八木保太郎

撮影 小倉金弥

美術 園真

音楽 津川主一

助監督 春山潤

出演	夏川静江	小山先生
	菅井一郎	横川
	杉村春子	その妻
	清水美佐子	娘・とし
	水谷史郎	息子・賢造
	勝見庸太郎	村長
	林幹	堀口
	英百合子	その妻
	菊川郁子	娘・雪子
	田中筆子	宿の小母さん
	浅野陽太郎	三平
	浅野桂次郎	仙吉
	中村メイ子	キヨ子
	三津田健	宮田

川田晶子	その妻
飯塚小三郎	息子
永井柳太郎	衛生委員
小森敏	お巡りさん
小島洋々	校長
鉄一郎	若い先生
山形凡平	四国の巡査
坂本猿冠者	その老父
二葉かほる	老婆
江崎勇	村の男
岬洋二	村の男
原田耕一郎	村の男
加藤欣子	村の女